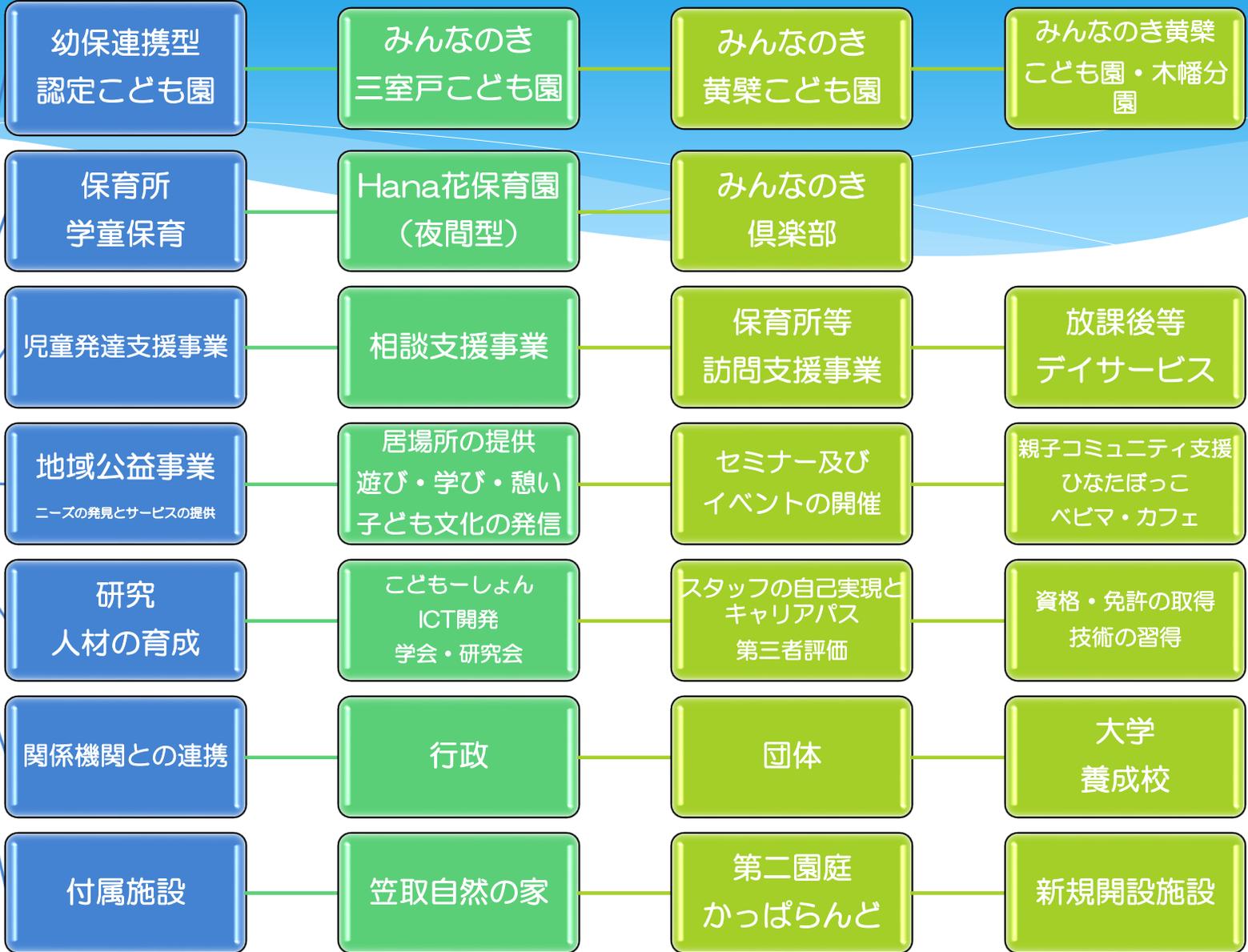


平成30年度事業計画

社会福祉法人 宇治福祉園

法人の理念と各事業及び組織図

(社福) 宇治福祉園 法人本部
 理念：いのちを大切にする保育・福祉実践の探究
 基本方針：子どもを中心にすべてのひとが日常のしあわせを創造すること





学童保育
みんなのき
クラブ

みんなのき
三室戸
こども園
定員180名

みんなのき
木幡
こども園
定員40名



家庭的保育
はないろは
定員5名

社会福祉法人
宇治福祉園
1973 (昭和48)
年
設立

南部小前
第2園庭



笠取自然
体験の家

児童発達
支援
こどものき
定員40名

みんなのき
黄薬こども園
定員120名

Hana花
保育園
定員60名



生活を全体的・総合的にマネジメントできる保育の強み

● プロセスには理念が反映される

● プロセスはスタイルをつくってゆく

● 保育の特性である同行性はプロセスを共にすること
子どもと共にライフスタイルをつくる道

共生のかたちを不断に探究する目覚めと創造の生涯教育の理念

- 対話～共生～平和を目指す、愛情に満ちた人間性豊かなコミュニケーション
- 「衣・食・住」を土台に、命やものの成り立ち、生きる力を育む生活体験型カリキュラム
- 生き生きと創造的想像力を発揮し、個性豊かに自己実現を目指す遊び・活動

宇治福祉園・みんなのきのの

教育・保育内容はどのように創られ、生成されているのでしょうか？

教育・保育にもレシピがあります。

保育を充実させるあらゆる仕組み・取り組み！

それが「カリキュラム・マネジメント＝保育の全体的な計画」

です！！

保育の魅力である同行性をフルに活かす 教育・保育スタイルの提案

- * 鈴木大拙『創造的想像力を持った「詩の世界」に生きる。真理は「理」法ではない、「詩」的である。目的を達成するには意味がないが、その人が生きているという点から見れば大事な意味がある。』
- * 共生のかたちを不断に探究する目覚めと創造の生涯教育の観点からみると、同行性や継続性に欠けるパッチワーク的こま割り保育はもったいない。カリキュラム・マネジメントを重層的・複合的に構成する必然。

◎現代日本における子どもの課題及び日本文化の維持・発展と地域創生の観点から

- 自然体験・・・自然への愛情、体力、自然の草木、花などを活かす遊び
- 生活文化にふれ、親しむ体験・・・手間の中に好奇心、探求心、感動を見出す
- 食育（梅干し、みそ、米・野菜の栽培等）、藍染め、和紙づくり、衣食住の生活の根本的な成り立ちについて体験的理解を促し、それらに対し愛情を育む取組み
- 地域の人、アーティスト、農業家、専門家、職人さん方とのつながり⇔地域コミュニティの再生と創造による子育て支援、地域支援⇔日本の優れた文化を保育・教育内容へ、運動、音楽、造形、アート、科学、等、躍動する生の主体として新たな世界を創造しながら文化を耕す取組み、生きがいのもととなる取組み

◎共生のかたちを不断に探究する目覚めと創造の生涯教育の観点から

- 大切なことは瞬間的な到達よりも、持続的に人間性を育み、幸せなライフスタイルを獲得していくこと
- 向善説・・・老若男女誰しも可能なこと。
- 「人間の幸せの条件とは何か。平和に向かって生きるための心情、意欲、態度はどのようにして育まれるのか。」について吟味し、教育保育を探究・創造しつづけること。

「保育の場」は「生きるということ」の
根本を育む「原体験の場」であり・・・

生涯教育のスタート地点、地域コミュニティの拠点として
「絶好の場」

- 保育・教育制度、第三者評価、保育人材認証制度（京都府キャリア・パスポート）などを総合的に活用しよう。
- 保育・教育の現状とその奥深さについてさらに社会に発信・説明するために保育・教育の質を具体的に高めよう。

子ども・大人・地域課題の改善に応える保育の仲間が
一人でも多く現れることを切望されています。

<いのちを大切にすると事業展開・・・ニードと対話する>

○ 「宇治市子ども・子育て支援事業計画」の施策体系

基本理念

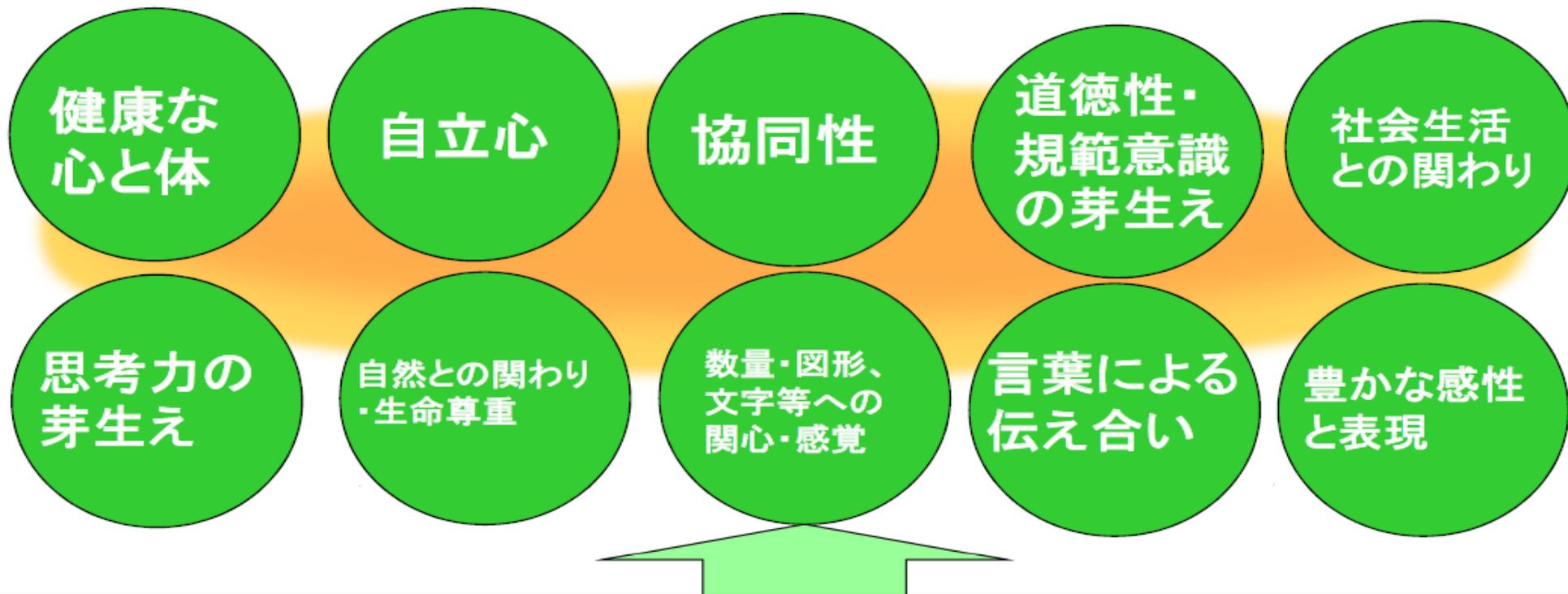
「次代（あす）を生きる子どもたちの夢と笑顔を育むまち 宇治」

- 基本目標 1 「子どもの健やかな成長・発達への支援の充実」
- 基本目標 2 「安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進」
- 基本目標 3 「地域で子育て支援ができる環境づくりの推進」
- 基本目標 4 「仕事と子育てを両立できる環境づくりの推進」
- 基本目標 5 「配慮を必要とする家庭へのきめ細かな取組の推進」

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の再整理イメージ（たたき台）

大項目の再整理

※ 平成22年以降の社会情勢や子供を取り巻く変化、中央教育審議会幼児教育部会等の御議論や「教育課程企画特別部会 論点整理」等を踏まえるとともに、2030年の社会と子供たちの未来を見据え、再整理したもの。個別の項目の再整理については、次ページ以降に示す。



幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿（※）

健康な心と体	自立心	協同性	道徳性の芽生え	規範意識の芽生え	いろいろな人とのかかわり
思考力の芽生え	自然とのかかわり	生命尊重・公共心等	数量・図形・文字等への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

※「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」（平成22年11月11日）に基づく整理。



◎宇治市の現状と課題

【参考】平成27年「宇治市子ども・子育て支援事業計画」度評価において、「C」評価以下の項目

基本目標1 子どもの健やかな成長・発達への支援の充実

- ①施設の開放と有効活用及び放課後等の居場所づくり（教育支援課）
- ②ハイリスク妊婦への医療機関との連携による対応（保健推進課、こども福祉課）
- ③親同士の交流活動への参加促進と環境づくり（こども福祉課）

基本目標2 安心して子どもを生ま育てられる環境づくりの推進

- ①子育て支援サービスの情報提供（こども福祉課）
- ②「心のバリアフリー」の推進（交通政策・障害福祉・こども福祉・保健推進課）
- ③自転車の安全な利用の推進（交通政策課）
- ④ユニバーサルデザインの施設整備の推進（こども福祉課）
- ⑤育児・授乳室、育児設備の設置の推進（こども福祉課）
- ⑥スマートフォンや携帯電話等を通じた犯罪対策（教育支援課）
- ⑦各種制度活用に向けた情報提供（こども福祉課）
- ⑧民間施設の有効活用（商工観光課）

基本目標3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進

- ①地域資源の活用による**遊び場などの確保**（教育支援課）
- ②民間施設の有効活用（商工観光課）
- ③子育てサークルやNPO等による**子育て支援事業の支援**（こども福祉課）
- ④市内の資源を有効活用した**安全な遊び場・学習の場の確保**（教育支援課）
- ⑤**文化・芸術にふれる機会**の充実（源氏物語ミュージアム）
- ⑥**指導者の掘り起こしと育成**（生涯学習課）
- ⑦**子どものまちづくりへの参加の促進**・・・ポスターや標語等の募集（こども福祉課）
- ⑧**子育てサークルの育成、ネットワーク化**（こども福祉課）
- ⑨園庭開放など幼稚園、保育所、認定こども園による支援事業（学校教育課）

基本目標4 仕事と子育てを両立できる環境づくりの推進

- ①**休日保育事業**の実施（保育支援課）
- ②就学前教育（保育）施設等との連携（こども福祉課、一貫教育課）
- ③多様な形態によるサービス提供の検討（こども福祉課）
- ④**放課後子ども総合プラン**の推進（教育支援課）
- ⑤**ワーク・ライフ・バランス**の啓発（こども福祉課）
- ⑥一般事業主行動計画の実施促進（こども福祉課）
- ⑦商工会議所、ハローワーク等との連携（こども福祉課）
- ⑧**事業所内保育施設整備**の促進（保育支援課）

基本目標5 配慮を必要とする家庭へのきめ細かな取組の推進

- ①ひとり親家庭の自立に向けた相談等の充実（こども福祉課）
- ②障害のある児童等への施策の充実・・・施設、設備面での対応（保育支援課）
- ③障害のある児童等の放課後対策の充実（こども福祉課）

このようなことから宇治市では・・・

1. 生命を尊び、相手を思いやるころや豊かな人間性をはぐくむことができるよう、よりよい家庭環境づくりへの支援や発達・成長段階に応じた総合的な取り組み
2. 妊娠期からの切れ目のない支援、ひとり親家庭など家庭環境に応じた自立支援、いじめ防止対策として子どもの状況・生活環境に応じた支援、障害の有無にかかわらず個性に応じたサービス提供や放課後対策、不安や悩みを聞く体制の充実、子育てに関する情報提供などのきめ細やかなサービス
3. 雨の日に遊べる場所、親子で遊べる場、誰もが相談できる環境、地域子育て支援拠点事業の充実が求められています。

これらの課題の改善に向けた活動を法人のミッションと捉え、法人の理念と前年度の各事業の評価・反省に基づいて平成30年度以降の事業を計画・展望します。

具体的事業案

1. インクルーシブ教育・保育宣言都市への働きかけ
2. 学童保育の充実、卒園児、卒園保護者等のつながり策
3. みんなのきーすてーしょん（京阪宇治駅前新規事業）
4. 自然体験の家の拡張・整備
5. ベビーマッサージ、子育て相談
6. 「こども工房」、「ママごとカフェ」
7. 新園舎建築による待機児童対策の実施
8. 地域コミュニティ創造・再生（園開放・居場所の提供）
9. 働く親の支援事業（惣菜提供）

3歳児月額保育料

階層区分	基準額			2人目適用額			3人以降
	1号認定	2号短時間	2号標準	1号認定	2号短時間	2号標準	すべて
A	0	0	0	0	0	0	0
B:ひとり親等	0	0	0	0	0	0	0
B:その他	10,600	4,200	4,200	0	0	0	0
C1:ひとり親等	10,100	5,600	5,700	0	0	0	0
C1:その他	16,600	11,000	11,200	12,600	5,400	5,600	0
C2:ひとり親等	10,600	5,600	5,700	0	0	0	0
C2:その他	18,600	18,000	18,300	13,600	8,850	9,150	0
C3	26,600	25,300	25,800	17,600	12,450	12,900	0
C4	29,400	29,200	29,700	19,000	14,250	14,850	0
C5	31,600	30,400	30,900	20,100	14,750	15,540	0
C6	33,600	33,600	34,200	21,100	16,300	17,100	0

※1号は同一世帯に属する小学校3年生以下、2号は就学前児童が二人以上の場合減免の対象となります。

4歳以上児月額保育料

階層区分	基準額			2人目適用額			3人以降
	1号認定	2号短時間	2号標準	1号認定	2号短時間	2号標準	すべて
A	0	0	0	0	0	0	0
B:ひとり親等	0	0	0	0	0	0	0
B:その他	10,600	4,200	4,200	0	0	0	0
C1:ひとり親等	10,100	5,600	5,700	0	0	0	0
C1:その他	16,600	11,000	11,200	12,600	5,500	5,600	0
C2:ひとり親等	10,600	5,600	5,700	0	0	0	0
C2:その他	18,600	18,000	18,300	13,600	9,000	9,150	0
C3	26,600	23,200	23,600	17,600	11,600	11,800	0
C4	29,400	26,200	26,700	19,000	13,100	13,350	0
C5	31,600	27,300	27,800	20,100	13,650	13,900	0
C6	33,600	28,600	29,100	21,100	14,300	14,550	0

※1号は同一世帯に属する小学校3年生以下、2号は就学前児童が二人以上の場合減免の対象となります。

重点テーマ及び本法人の基盤強化 1. 基本方針、中長期計画

1. 経営基盤の強化

幼保連携認定こども園への移行に伴う、制度の理解と活用に努め、安定的かつ効率的な事務の執行、資金管理体制の強化を図る

- * 保育所待機児童、放課後児童健全育成事業等への対応に備えた土地の取得・施設整備計画の立案と資金計画
- * 放課後デイサービスの拡充と環境整備計画及び資金計画

2. 人材育成と職員処遇、労働環境の整備・改善

- * きょうと福祉人材認証制度の上位認証に向けた人材育成システムの確立
- * 職員給与及び労働環境等の整備・改善
- * 事業及び各種業務の質と労働環境の両立に向けた業務の見直し及び組織の改編・体系化

3. 「いのちを大切にする」という法人理念と日本の生活文化を活かした教育・保育方法の確立・発展

- * 子どもの人権と個性、主体性を尊重する実践
- * 豊富な生活体験を土台とする実践
- * 豊かな情操・感性、個性的想像的創造力を愛し、表現の自由と科学する心を満喫する実践

4. 保育を科学的・多面的にサポート・推進するシステムの開発

- * こどもーしょんシステムの充実・・・認定こども園への対応、業務省力と教育保育の質とを両立する様式の作成
- * 実践研究・・・京都府保育協会、京都保育士養成研究会協働の「実習ハンドブック（仮称）」の作成。
- * 人材ネットワークの拡張・充実・・・教育・保育の質の向上と子育て支援の充実

5. 子どもを真ん中にした地域公益活動・社会貢献活動

- * 地域拠点としての活動・・・京都地域福祉創生事業「こらぶれーしょん」の推進、「みんなのきーすてーしょん」
- * 学童保育及び放課後デイサービス、相談支援事業の一体的展開
- * 災害時の自衛隊宇治駐屯地との協定、宇治市災害ボランティア活動への積極的参画
- * 行政、社協、大学、養成校、他法人との連携・協働

事業計画の構成

- 1 基本方針
- 2 重点事業
- 3 実施計画

【基本理念】

「いのちを大切にすること」という法人理念に則り、一人ひとりの子ども、その保護者、家庭、地域の日常が同心円的に豊かになるよう教育・保育方法及び成育環境の創造と社会貢献活動の推進を目指します。

【使命】

- I. 一人一人の子どもと大人の生き生きとした日常を支える。
- II. 一人一人の出会いに感謝し、すべての活動を対話的に創造し、育み合う。
- III. 子どもを真ん中に、すべてのひとが日常のしあわせを創造できるコミュニティ・社会づくりを推進する。

【役割】

1. 理想の教育・保育者像を目指し、質の高い教育・保育の実践・創造・探究に努める。
2. 対話は福祉や教育の原点であることを理解するとともに、コミュニケーション・スキルを高め、さまざまな人たちとの豊かな人間関係を構築しつつ、ニーズの把握と丁寧な対応に努める。
3. 人的環境の一員として、技術の習得と表現力の向上について計画的に実践する。
4. 自然の恵みや身近な素材を活用し、より良い物的環境の吟味・構成・循環に努める。
5. 一人ひとりの子ども・大人が生き生きと集い、活動し、ふれあうコミュニティや地域風土を醸成する。

2. 重点事業①

【経営基盤の強化】

- * 幼保連携認定こども園への移行三年目を迎え、制度の熟知に努め、安定的かつ効率的な事務の執行、資金管理体制の強化を図る
 - ①公定価格におけるさまざまな加算を活用し、適切な人員体制と財政基盤の安定を図ること
 - ②良質な教育・保育の提供と適正な保護者負担金の両立を図ること。また、徴収の際のミスがないよう1号認定の延長保育料、他市町村からの利用受け入れによる連携事務を丁寧かつ確実にを行うこと。
 - ③運営費や補助金の請求・実績報告等の事務作業の繁忙期を見定め、計画的かつ丁寧な点検を行い、業務に当たるよう努めます。
- * 保育所待機児童、放課後児童健全育成事業等への対応に備えた施設整備計画の立案と資金計画
- * 放課後デイサービスの拡充に向けての環境整備計画及び資金計画
弊法人が運営する園への待機児童対策及び「学童保育」、放課後デイサービス等の利用者ニーズに応えるための場所の確保、環境整備及び資金計画を立て、速やかに開設できるよう努めます。

3.重点事業②

【良質な教育・保育・福祉の提供と働きやすい職場づくりを目指して】

- * きょうと福祉人材認証制度の上位認証に向けた人材育成システムの確立
- * 職員給与等の改善、休日の増加
- * 事業及び各種業務の質と労働環境の両立に向けた業務の見直し及び組織の改編・体系化

平成28年3月には、京都府「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証を受けました。今後は上位認証を目指して、さらに「やりがい・働きがい・生きがい」のある職場づくりに努めます。

また、平成29年度に国が実行する「保育者の処遇改善制度」を活用し、副主任級を中心とした処遇改善を図ります。

- ①わかりやすいキャリアパスのしくみ
- ②人生設計に見通しの持てる給与体系
- ③地位向上に向け、良質な実践を支える研修体系
- ④業務省力と教育・保育の質の維持・向上を両立する記録様式・システムの構築と組織体制
- ⑤大学院、幼稚園教諭免許所得に係る特例講座等への就学支援、奨学金制度の活用

職員処遇の改善は最重要課題の一つです。政府の施策や財源と人材を有効に活用し、誰もが生き生きと活躍できるよりよい労働環境の構築に努めます。

4.重点事業③「いのちを大切にすること」という法人理念から 日常的な幸せを創造する・生活を楽しむ保育へ

【①対話⇒良質なコミュニケーション②自己修養⇒保育者自身の生きがい・自己実現の目標と人間性・専門性の向上とを重ね、チーム力を育み合おう】

* 一人一人のいのちを大切にすること⇔子どもの人権と個性、主体性を尊重する実践

子どもの側に行き、一人一人の子どもとの対話を通して、その背景と子どものすがたや活動をプロセスごと理解する実践に努めます。また、向善説、インクルーシヴな理念に基づく共生社会のプレ体験の場として、一人一人の子どもの人権・尊厳を尊重した保育活動を目指します。

* 自然のいのちを大切にすること⇔豊富な生活体験を土台とする実践

自然体験、畑づくり、藍染、草木染、食育⇒いのちの不思議、自然の偉大を体験的に学び、自然との対話、手間や愛情を継続的・持続的に注ぐ大切さを感謝と祝福のうちに学ぶ保育活動。さらに、故郷への愛着、食材への感謝、生活の知恵、大人への憧れや躍動する生、生活で得られる感動を生きるモチベーションや学びにするいのちの教育・保育の充実・発展を目指します。

* 乳幼児期のいのちを大切にすること⇔豊かな情操・感性、個性的想像的創造力を愛し、表現の自由と科学する心を満喫する実践

子どもがその「個性や能力」をのびのびと発揮できるよう、子ども時代を満喫し、一人一人の「やる気」や「好奇心」、「探究心」等、子どもの願いを実現する保育活動を目指します。日常生活体験の充実から芽生えたひらめきや思いつきから、子どもにとっての意味性、物語性のある（子どもの生の共同者として）、詩情に満ちた日常芸術性あふれる保育活動、体験とプロセス重視のアクティブ・ラーニングを実践方法として確立していきます。

5.重点事業④

【保育を科学的・多面的にサポート・推進するシステムの開発及び新規ツールの活用】

「こどもーしょんシステム」に平成30年に施行の認定こども園教育保育要領、保育所保育指針、幼稚園教育要領、京都版保育所第三者評価項目・基準ガイドライン等の内容を反映します。

また、教育・保育の良質化と業務の効率化を目指し、さまざまなICTプログラムやアプリケーションの活用にはチャレンジし、実践に反映できるよう努めます。誰もが簡単に質の高い教育・保育実践が可能となるよう努めます。

資質・能力の三つの柱に沿った、幼児教育において育みたい 資質・能力の整理イメージ（たたき台）

小学校
以上

知識や技能
(何を知っているか、
何ができるか)

思考力・判断力・表現力等
(知っていること・できることを
どう使うか)

学びに向かう力、人間性等
情意、態度等に関わるもの
(どのように社会・世界と関わり
よりよい人生を送るか)

※下に示す資質・能力は例示であり、遊びを通しての総合的な指導を通じて育成される。

幼児教育を通して行う教育へ

知識や技能の基礎

(遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、
何に気付いたり、何が分かったり、何ができるようになるのか)

- ・ 基本的な生活習慣や生活に必要な技能の獲得 ・ 身体感覚の育成
 - ・ 規則性、法則性、関連性等の発見
 - ・ 様々な気付き、発見の喜び
 - ・ 日常生活に必要な言葉の理解
 - ・ 身体的技能の基礎や芸術表現のための基礎的な技能の基礎の獲得
- 等

思考力・判断力・表現力等の基礎

(遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなども使い
ながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか)

- ・ 試行錯誤、工夫
- ・ 予想、予測、比較、分類、確認
- ・ 他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ
- ・ 言葉による表現、伝え合い
- ・ 振り返り、次への見通し
- ・ 自分なりの表現
- ・ 表現する喜び等

遊びを通しての 総合的な指導

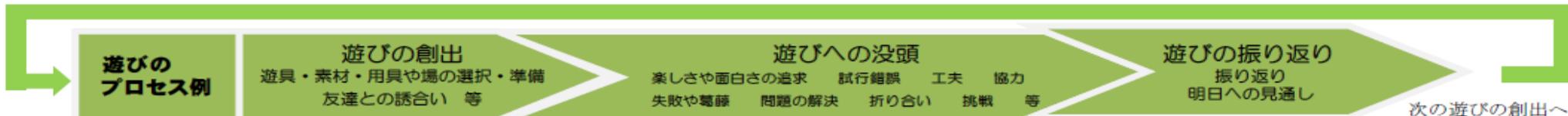
- ・ 思いやり ・ 安定した情緒 ・ 自信
 - ・ 相手の気持ちの受容 ・ 好奇心、探究心
 - ・ 葛藤、自分への向き合い、折り合い
 - ・ 話し合い、目的の共有、協力
 - ・ 色・形・音等の美しさや面白さに対する感覚
 - ・ 自然現象や社会現象への関心
- 等

学びに向かう力、人間性等
(心情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか)

・ 三つの円の中で例示される資質・能力は、五つの領域の「ねらい及び内容」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から、主なものを取り出したもの

アクティブ・ラーニングの三つの視点を踏まえた、幼児教育における学びの過程（5歳児後半の時期）のイメージ 【たたき台】

幼児教育において、幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達を基礎を培う重要な学習として位置付けられている。下に示すプロセスは例示であり、順序を含め本例に限定されるものではない。



幼児教育における重要な学習としての遊びは、様々な形態等で構成されており、下に示す三つの学びの過程を相互に関連させながら、学びの広がり（深い学び、対話的な学び、主体的な学び）を意識した、指導計画の工夫が望まれる

直接的・具体的な体験の中で、「見方・考え方」を働かせて対象と関わって心を動かし、幼児なりのやり方やペースで試行錯誤を繰り返し、生活を意味あるものとして捉える「深い学び」が実現できているか。

深い
学び



感触・感覚・感動 すごいなあ きれいだなあ 〇〇だね・△△だよ	試行錯誤 気づき・発見の喜び なぜ・どうして どうなるのかな・見付けた	予想・予測・比較 分類・確認 〇〇かもしれない・ 〇〇になりそう 〇〇は同じだけれど△△は違う	規則性・法則性・関連性等 の発見と活用 〇〇だから△△になった 〇〇なのは△△だから △△すると〇〇になりそう 次に〇〇するとどうなるかな
--	--	---	--

対話的な
学び



他者との関わりを深める中で、自分の思いや考えを表現し、伝え合ったり、考えを出し合ったり、協力したりして自らの考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

依存と自立 信頼関係	自己表現 相手への感情・意識	思いの伝え合い イメージの共有 共感 刺激のし合い	葛藤 内省 折り合い	対話や話し合い 目的の共有 協力
---------------	-------------------	---------------------------------	------------------	------------------------

周囲の環境に興味や関心を持って積極的に働き掛け、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの遊びを振り返って、期待を持ちながら、次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

主体的な
学び

安定感・安心感	興味や関心	自発性	自己肯定感	好奇心・探究心	持続性・粘り強さ	必要感	振り返り・見通し
---------	-------	-----	-------	---------	----------	-----	----------

環境を通して行う教育

幼児一人一人の行動の理解と予想に基づいた意図的・計画的な環境の構成

幼児期にふさわしい生活の展開
遊びを通じた総合的な指導
一人一人の特性に応じた指導

自由遊びから表現遊びへ

エンディングの収穫祭
子どもらによる創作ダンス



餅つきの途中で子どもが自然発生的に作った踊りと歌が発表会のエンディングを飾る！練習とは無縁の表現遊び！！

生活を土台にした系統的活動と自由遊びの関係⇒対話的・躍動的・共生的カリキュラムへ

活動に活力を与える自由あそび・子どもの思いや願いを実現する保育活動

自由遊び



福島ひまわり里親プロジェクト
「元気に咲きますように！」



屋上プールの水を園芸用水へ
「水が来た！つないで！」



竹馬のコースを自分たちで作って
「ここも行けるで！」



笠取で見つけた八つ手の葉
「こどもてんぐやで～！」



草木染の布によって縄に
「お母さんにあげるねん。」



発表会の衣装づくり「こども
たねのねあのねのね。」

期の活動

～春～
土泥んこ

いのちの土
生活の土
遊びの土
土との関係

～夏～
水

いのちの水
生活の水
遊びの水
水との関係

～秋～
自然運動

自然を満喫
全身で感受
心身の躍動

～冬～
表現

創造的想像
個性的創造
共生的創造
表現することは
生きること

生活・文化的
体験



土づくりから野菜栽培へ



染料づくりから草木染へ



種から藍、育み合う愛着



稲の栽培から脱穀粃摺りへ



育てた大豆で味噌づくりへ



藍だてから藍染へ

生活を背負う系統的体験 栽培・染め・色水

本事例：生活を土台にした活動・自由遊び・表現活動の重層的カリキュラムを概観する

自由遊び
子どもの思い



場面ごとの遊び

第1場面 種⇔手	第2場面 芽⇔目	第3場面 葉⇔歯	第4場面 花⇔鼻	第5場面 穂⇔頬	第6場面 実⇔耳	第7場面 子ども大地を耕す 子どもの根を張る

表現遊びの
プロセス

テーマ・場面の設定 1年の活動を振り返り 子ども自身が決定	創作ダンスづくり 子どもの言葉⇒園長 作曲⇒劇中歌・振付	台詞づくり 自分で考える。創造と 表現がありミスはない	舞台稽古 自信を育み、自己肯 定感へ	装飾・被り物づくり 鏡でチェックしながら 納得いくまで制作	道具・背景づくり 子どもと保育者が合 作して舞台を演出	衣装づくり・藍染 種から育てた藍染。 藍の香りをまとう	招待状づくり 草木染の和紙で飾り 付けて父母へ

染めの行方

100均の靴下を杉で染めて人形へ。
低年齢児クラスでも活用されている人気者です。



染めの制服！胴部分は草木染、袖は藍染です。(みんなのき黄檗こども園)

6.重点事業⑤

【子どもを真ん中にした地域公益活動・社会貢献活動】

29年度も「京都地域福祉創生事業 こらぶれーしょん、保育園へ遊びにおいDay」を京都府社協と連携・協働のもと実施します。年54回計画しています。

(1) 「憩い場」

くつろぎ・交流スペース。栄養士による日替わり手づくりクッキーに湯茶を無料で提供。日ごろお茶をいただき暇も余裕のない親御さんの、親子共々の仲間づくりや、気軽な子育て相談の場として活用しています。小学生以上の子どもも自由に行き来しています。

(2) 「遊び場」

当法人の保育の特色である、手づくり環境、つくる・描く遊び、運動・泥んこ等のダイナミックな遊び、乳児コーナー等を設け、赤ちゃんから大人まで自由に遊びを楽しんでいます。

(3) 「学び場」

小学生以上の子どもが落ち着いて勉強がしたいとき、必要に応じて設定するスペース。今はまだ利用が少ないですが、学習支援や大人も利用できるシェア・オフィスのような「場」にしていきたいと考えています。

(4) 「利用者・協力者がつくるプラスαの場」

(5) セミナーの実施

看護師によるベビー・マッサージ、臨床心理士による子育て・教育に関する講義、アーティストによる実技講習など、参加者の世界づくり、仲間づくり、自分づくりの拠点として、日常保育と相互的に展開します。

こども園だからこそ生活を根本に 『アイデアル・サイクル』

- I -Identity,Imagine,Idea,Inspiration : 主体性
- D -Do,Design : 行動、体験、デザイン
- E -Enjoy, Empathy , Excitement : 楽しむ・共感・感動
- A -Art ,Act : 芸術・美術・技術
- L -Lovely,Lively,Life : 愛するということ・生活リズム、

Ideal=理想 そして「愛である」

ライフ・スタイル⇒達成度よりも手間・暇をかける教育・保育を重ねていきたい

生きるスタイルを育む教育・保育を子どもたちと

わたしたちが用意している環境

- * 子どもの主体性を伸ばし、対話的・協働的に創出し続ける多様な教育・保育環境、乳児室・保育室・園庭・第二園庭・自然の家
- * 本ものと遊びを往還する教育・保育活動⇒ごっこあそび・創造的表現活動⇔栽培・畑（第二園庭）⇔散歩⇔園外保育⇔自然体験の家⇔リクエストメニュー・エプロンタイム・クッキング・草木染・藍染・紙漉き⇔音楽家・人形劇・民俗芸能・影絵等々のアーティスト、農業士、染色家、陶芸家
- * 社会福祉学・教育学の学識経験者、保育教諭、臨床心理士・臨床発達心理士、看護師・保健師、栄養士など、多様な職種で構成するチームワーク
- * 地域コミュニティの創造と再生に向けた社会公益活動・・・こらぶれーしょん、みんなのきーすてーしょん

◎教育・保育課程及び保育における構造化・可視化が急務

- (ア) 園が設定する系統的カリキュラムの内容・計画
- (イ) 子どもの自由な活動及び躍動的な展開を援助・促進
- (ウ) それらを結ぶ丁寧かつ良質なコミュニケーション・対話力
- (エ) 生成されてゆくプロセスの有り様を追跡（記録・評価）
保育の特色であり強みである
- (オ) 食育、生活習慣の涵養
- (カ) 保護者支援等々

良質な保育が実現する諸条件等について学び、喜び、

「自身の保育実践を語ろう！！」

保育の平面図 = 環境構成と子どもの活動・コミュニティを俯瞰的に観る

保育の立面図 = 子どもの活動及びコミュニティの活動の発達・発達領域を断面的に観る

心のチャート = 子どもの人間関係及び心の形・情動を観る

最近接発達領域を考慮してチームマネジメントする

遊びや生活の鮮度を保つ条件

- 創造・表現の循環
- 感動・夢中の循環
- 好奇心・探究心の循環
- 感覚・身体的快感の循環
- 健康・充実の循環

日常のアーティスト・科学者

幸せに生きるスタイル

スタイルはプロセスに反映する

生活スタイルを教育保育内容へ

中道から能動へ移る時間的ゆとりの保障

内発的動機付け

飛び入り、パッチワーク的人事、細切れ時間割への配慮

キャリアパス・研修・自己修養

世界づくり

環境層を豊かにする環境構成・スキル・スタイル

人間層を豊かにする保育方法・スキル・スタイル

人間社会・生活の土台にある「環境層」「人間層」と保育の五領域である「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」領域を念頭に園の教育保育のマネジメントを行う保育者または保育チーム

子どもの身近なテーマは「生活」にある生活を遊ぶ子ども、体験を遊ぶ子ども

子どもの楽しも深い学びは「プロセス=時間」に由来するプロセスの一つ一つの意味から物語が生まれる物語が活動意欲や活動及び活動の産物への愛着を育む

生活を五領域で 生活は誰にでもあり、アクセスしやすい

出会う保育者の得手不得手、好き嫌い及び力量が「出会い=喜びと学び」の質・量を左右する

一人一人の保育者の内なる五領域の視点を育成する
一人一人の特性を生かし合う保育チームの育成
組織外と協働・連携して専門性を高める「知・技」の交流

出会い①: 環境層
受動的出会い
能動的出会い

- 自然 「空」「風」「光」「土」「水」「動植物」などの自然環境
- 社会 「公共施設」「交通」「設備」などの「まち」を構成する社会環境
- もの 「紙」「布」「木材」などの様々な物質環境

出会い②: 人間層
受動的出会い
能動的出会い

- 生活 生きるために必要な「衣」「食」「住」などの日常を支え維持するための活動
- 文化 生きがいに必要な「アート」「スポーツ」「科学」などの自己実現に貢献する活動
- 人格形成 愛着、基本的信頼、自己肯定感、共同体意識などの人格形成に寄与する活動

保育理念: (例)「いのちを大切にすること」
五領域を意識していない段階。
「ヒト」として多様な生命に生かされていること
豊かに生きるライフスタイルを形成し、未来へ紡ぐこと

興味や関心が出会いを決定する

喜びや感動が出会いを深める

自分づくり

仲間づくり